



# AmpiTā

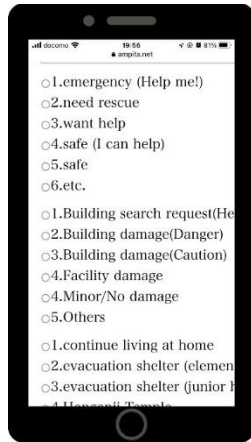
多用途安否確認システム AmpiTā

制作・著作 AmpiTā Project (代表 西 謙一)

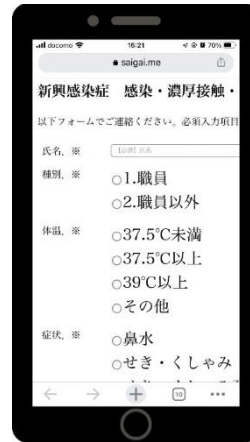
紹介サイト <https://www.ampita.jp>



安否確認(氏名と安否)



英語表記の安否連絡画面



従業員健康観察への応用



氏名自動入力機能採用画面

## ■インストール方法

1. AmpiTā の配布パッケージ(フォルダ)を丸ごとパソコンや USB フラッシュメモリにコピー
2. AmpiTā.exe をダブルクリックして起動

\* インストーラーなどはないポータブルアプリケーションです。直接起動してください。

\* DLL ファイルなど AmpiTā.exe と同じフォルダに在るファイル群も動作に必要なになります。

## ■アンインストール方法

1. インストール時に保存されたフォルダを丸ごと削除

## ■詳細情報

AmpiTā 公式サイトにマニュアル掲載 (<https://www.ampita.jp>)

## ■AmpiTā の仕組み

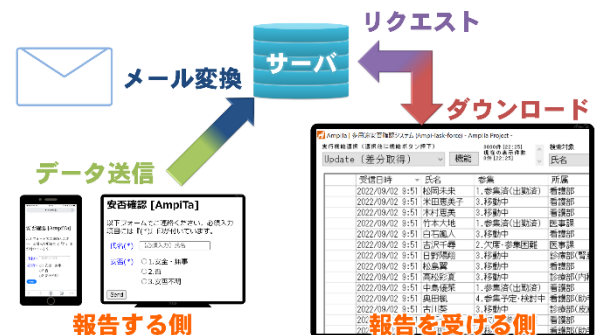
安否情報の登録はウェブサーバに用意した入力フォームを使います。入力フォームは AmpiTā が自動生成しますので、ウェブサーバに転送するだけの専門知識不要の仕様になっています。

入力フォームで登録された情報は定型メールとしてメールサーバに集まります。メールアドレスが必要になります。AmpiTā に登録される機密情報はメールアドレスのみです。この情報は暗号化されます。

任意で LINE のグループにメッセージを送信できます。この場合、LINE のトークンが必要になります。

## ■初期設定

1. メールアドレスを準備(取得)
2. メールアカウントを AmpiTā へ登録
3. AmpiTā で受信状態を確認
4. 登録フォーム(PHP)を AmpiTā で生成
5. 登録フォーム(PHP)をウェブサーバへアップロード
6. 登録フォーム(PHP)から試験入力
7. AmpiTā で受信を確認(初期設定完了)



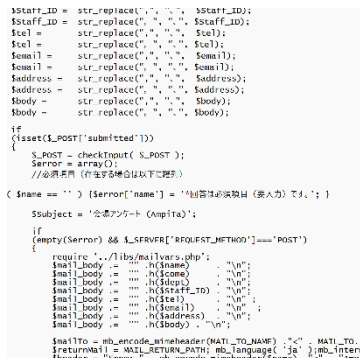
## ■メールアドレス設定

1. AmpiTā を起動し、メイン画面から基本設定(アカウント設定)画面へ遷移する
2. 受信用メールアドレスを設定する

\* メールサーバをデータベースとして使用するため受信用アカウントは必須です。送信設定なども併せて実施することをお勧めします。



安否報告用ウェブページ生成編集画面



自動生成された PHP ファイルの一部



ウェブサーバで閲覧した画面

## ■安否報告用ウェブページ自動生成(ノーコード開発)

1. Ampita を起動し、メイン画面から基本設定画面へ遷移し、さらにウェブページ設定画面へ遷移する
2. 報告を求める項目や内容を決定し PHP ファイル群を出力する

\*. PHP ファイルと関連するフォルダやファイルが自動生成され1つのフォルダにまとめて出力(これらをアップロードして下さい。)

## ■安否報告用ウェブページのウェブサーバ転送(アップロード)

1. ウェブサーバへファイルをアップロードできる手段を用意する  
(レンタルサーバのファイルマネージャ、FTP 転送ソフトなど任意)
2. Ampita の自動生成機能で出力した PHP ファイル群を任意のディレクトリ(URL)にアップロードする

\*. Ampita にも FTP 機能は搭載されていますが発災後のファイル転送に特化しているため新規ディレクトリを作成する機能は備えていません。

## ■入力(安否報告)

1. ウェブブラウザを起動し、所定の URL から報告画面を開く
2. 必要事項を入力して送信
3. 送信が完了した旨が表示される

\*. エラーが出た場合、関連ファイルに異常があるか、正しくアップロードされていない可能性があります。

## ■絞込

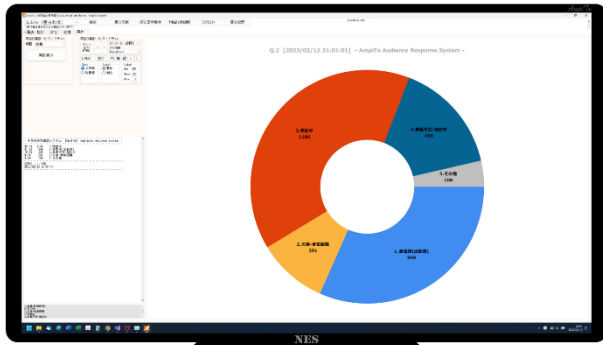
1. 絞込キーワード、対象となる項目を指定し実行
2. 該当するものだけが画面に残る(絞込表示)

## ■ソート

1. 任意の1項目を指定
2. 送信日時が最新のものを選抜し1件ずつに絞り込まれて表示

## ■突合点検

1. 任意の名簿を外部からインポート(CSV ファイル限定)
2. 既に受信した安否等の一覧表の項目と、外部名簿の項目を互いに指定し紐づけ
3. 両方にある(一致)、名簿にあるが一覧表にない(未連絡)、その逆(身元不明者)に分類して表示



グラフ表示(ドーナツ型)

メイン画面(一覧表)

## ■集計(収集した安否情報の管理)

1. Ampita を起動し、メイン画面で受信(メールサーバからデータをダウンロード)
2. 分類項目別に一覧表示(自動表示)
3. 以降は差分受信(新着分だけダウンロードし通信量を抑制)

## ■出力

1. 一覧表を出力(集計一覧または突合点検結果)

\* ファイル形式は Microsoft Excel で扱える CSV とウェブブラウザで閲覧可能な HTML を選択できます。

\* 外部からインポートした名簿は出力できません。

## ■グラフ表示

1. メイン画面の集計タブを開く
2. 集計対象となる項目を選択し集計(度数分布)
3. 任意のグラフを選択(35 種類)

## ■ARS: Audience Response System(聴衆の挙手による意思表示を代替する簡易クリッカー)

1. 予めアンケート等の情報入力画面を制作しアップロードしておく
2. Ampita を起動し、メイン画面から基本設定画面へ遷移し、さらに ARS 画面へ遷移する
3. アンケート等を実施しメールサーバに回答が貯まっている状態で集計を実行
4. テキストデータとグラフデータが表示される(テキストとグラフは選択制)

\* 集計後に無用なデータをメールサーバから削除する機能を備えていますが、非常時の安否確認では削除する事に潜むリスクの評価が困難であるため、非常時には削除機能を使用しないでください。試用版は一部機能制限を行っています。

## ■架空人物の自動生成・架空データ送信(乱数で組み合わせた姓と名で架空人物を生成)

1. 作成したい架空人物の人数を指定する
2. 任意で部署名等の辞書を作り登録する
3. 架空人物名簿が CSV ファイルで出力される
4. 送信に使う架空人物名簿を指定する(前述の方法で作成したファイル)
5. 送信する内容や項目順を指定し、送信する(1 人 1 通ずつ自動送信)

\* 送信前にメールアドレス設定をお済ませ下さい。

## ■災害モードウェブサイト(テキストデータのみの軽量のポータルサイト)

1. Ampita を起動し、メイン画面から基本設定画面へ遷移し、さらにウェブページ設定画面へ遷移する
2. 災害モードウェブサイト作成タブを開き、任意のデータを入力する
3. HTML ファイルを出力する
4. ウェブサーバへ転送する

\* HTML ファイルはウェブサーバに公開されていない状態でパソコン上で開くとブラウザで閲覧可能です。公開前にご確認ください。



デモ用アカウント設定(基本設定画面で適用)



AmpiTа 公式サイトでの入力体験リンク (ampita.jp)

## ■架空人物データでのデモンストレーション(AmpiTа で予め制作したデモデータ利用)

1. AmpiTа を起動し、メイン画面から基本設定画面へ遷移しデモンストレーション用アカウントを適用する
2. メールアカウント設定を保存する
3. メイン画面に戻り、受信する
4. AmpiTа 公式サイトにある安否情報等のデモ入力画面を開く (<https://www.ampita.jp/ampita/fyi/>)
5. 任意の情報を入力し、送信する
6. AmpiTа のメイン画面に戻り、受診する

## ■動作確認

パソコンは 2022 年 12 月まで Windows10 搭載機、以降は Windows11 搭載機で試験を実施しています。

ウェブサーバとメールサーバは『さくらのレンタルサーバ』のスタンダードとビジネスを利用しています。

非常時を想定した試験として通信速度 200bps、一斉に 3,000 通のメールを送信し、続いて受信する試験を複数回実施しています。テスト用の架空人物名簿生成や架空メール送信機能も AmpiTа に搭載しています。

## ■ライセンス登録(ライセンスキーをお持ちの場合)

メイン画面左上のメニューからライセンス機能を実行してライセンスキーを登録できます。

## ■リンク集



Vector (AmpiTа Download)



ソフト関連情報 (ampita.jp)



販売 (24med365.net)



さくらのレンタルサーバ

名 称	AmpiTа (アンピタ)
機能要約	安否確認、出欠/健康観察報告、聴衆応答(ARS: Audience Response System)、ウェブページ生成
取扱種別	無償ソフト(フリーウェア・ポータブルアプリケーション)
機能制限	一覧表に表示できる件数の上限設定、自動受信機能の無効化、ARS の一部機能
動作環境	Windows OS 全般(安否確認対象者の情報登録はウェブブラウザ使用のためマルチデバイス対応)
推奨画面	1,600×900 ドット以上
連絡先	info@ampita.jp (AmpiTа Project 事務局)

AmpiTа が始動した 2013 年当時は透析患者の安否確認のために、携帯電話非保有者でも使える物を考えました。SNS が発達した現在はメールアドレスを常用しない人も多いため、今の AmpiTа の仕組みに変えました。お気づきの点がございましたらお気軽にお寄せ下さい。